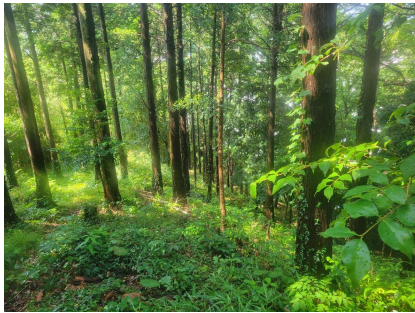


田和山の森から

第 251 号
令和 7 年 9 月 5 日
里山を育てる会

8 月の作業から

ヒノキ林の侵入マダケの伐採



精米所の上部のヒノキ林内には、周囲にあるマダケが侵入してきますので、毎年、タケが柔らかい時期に伐採整理を行っています。

今年も 8 月の最初の作業として行いました。写真の様な林内となりました。

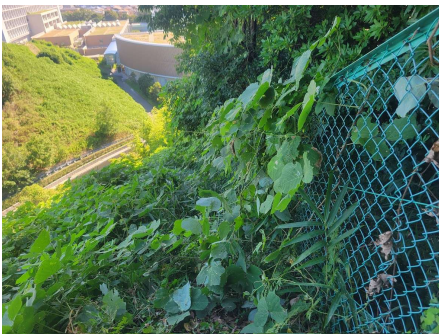
ノキなどの枝を切り落としました。この作業によって、宍道湖の湖面を眺められるようになりました。



写真が業前が真が業下作後になります。

北側フェンス周りの整理

北側のフェンスは、市立病院の進入路法面にクズが繁茂してフェンスに巻き付いていますので、外側 1 m の刈り払いと、巻きついたクズなどを除去しました。この作業に併せ、田和山の最高点(標高 46m)の展望台から、宍道湖が見通せないようになっていましたので、フェンスの上に伸びてきたタブ



9 月の予定

主たる作業

- ・北側のフェンス周りのつるの除去
- ・シイタケの栂場異動
- ・竹林の整備

田和山の樹木 第 64 回 キハダ

田和山の東側の斜面キハダが、2 本だけあります。このキハダは、2014 年にクスギ共に 10 本植栽したものです。この内の 2 本が残っています。植えてから 10 年で、木肌は平滑ですが、樹齢を重ねると共に凹面のコルク化が進んできます。



葉は羽根状の複葉で、2～6 組の小葉が対になっており、小葉は楕円形で、長さ 5～12 cm、幅 3～5 cm ぐらいになり、雌雄異株です。ミカン科の樹木ですので、カラスアゲハなどが好んで卵を産み付けるといわれています。

キハダは全国に分布しており、古くから重要な薬用樹として保護されていましたが、近年は伐採が進み、数が減っています。山陰地方でも山の谷筋で見かけられます。

樹皮の内側(内皮)が右の写真の様に黄色いことからキハダと名がついたといわれています。この内皮にベルベリンという物質が含まれており胃腸薬等に利用されています。



今後の活動予定 9 月 5 日(金)、9 月 12 日(金)、9 月 20 日(土)、9 月 26 日(金)、10 月 3 日(金)、10 月 10 日(金)、10 月 18 日(土)、10 月 24 日(金)、10 月 31 日(金)です。時間は 9:00 から、10 月から 13:30 ただし 18 日は 9:00 からとなります。